

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第4回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和8年3月27日（金） 午後3時30分 開会 午後4時36分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長（委員長・会長）の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者（委員）の氏名・出席者数	新井 紀子 石橋 妙子 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 関口 千登世 高橋 好次郎 7名
欠席者（委員）の氏名・欠席者数	熊谷 千佳子 市川 なお美 2名
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 係長 前田 博美 係長 久保 彰子 4名
会 議 次 第	1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 （1）令和7年度第4四半期利用状況について （2）令和7年度第4四半期実施事業報告について （3）令和8年度当初予算の概要について （4）令和8年度事業計画（案）について 4 その他 5 閉会
配布資料	【事前配布】 ・令和7年度第4回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和7年度第4回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和7年度第4回坂戸市立図書館協議会資料の概要 【当日配付】 ・図書館だより第215号

会 議 録

議 事 の 経 過	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
発 言 者	
事務局	1 開会 出席者7名。図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、会議の成立を報告する。
委員長	2 挨拶
委員長	3 報告事項 (1) 令和7年度第4四半期利用状況について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	電子図書の貸出数が減少しているのは、年度末ですでに皆さんが読んでしまったから利用が減少しているということか。
事務局	考えられることは、電子図書の購入を3月に行ったことから、1、2月は新しいものが入っていなかったため減少していると推測される。
委員	購入後、期間限定型の場合に貸出期間が終わりに近づいてきた時に利用が減少するということか。
事務局	期間限定型は52か月だが、購入、検収作業から52か月であり、タイミングによっては貸出できなくなることもある。また、4月以降に期間が終了する資料もあり、貸出できる全体の冊数は4月以降に減少する。
委員長	(2) 令和7年度第4四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	はたこうしろうさんの講座、26名が参加されているが、参加者の年代は。

事務局	子ども7名、大人19名、子どもの内訳は、幼稚園年長1名、小学生6名である。
委員	出前講座（ウエルシア薬局）は、事前告知しているか。
事務局	依頼者から社会教育課に依頼し調整をしたうえで行くことになる。坂戸市西部地域包括センターから出前講座の依頼があり、高齢者向けの読み聞かせの出前講座として実施している。読み聞かせ以外にも「図書館を活用してみませんか」ということで、図書館は本を読むこと以外の利用方法や催し物等の案内や、読書のきっかけづくりとしてそれぞれの年齢層に向けたおすすめ本の紹介等をさせていただいている。
委員長	教養講座は、一般向けだが、参加者は高齢者が多かったか。
事務局	昨年度に引き続いての講座であったが、高齢者が多かった。
委員	教養講座、筑摩書房、平凡社、柏書房の御三方に講演いただいたが、男性が多かった。質問も熱心であった。
委員長	どんな質問があったか。
事務局	絵本を出版する予定はあるか。出版社としての信念を聞きたい等の質問があった。
委員	社会的意義を持った本を皆様にお届けしたいということをおっしゃっていたので、すごいと思った。
委員	この御三方に学生向けに講演をしていただいたことがある。将来のキャリアのこと、出版業界や編集関係になる学生でなくても、社会人の大先輩としてお話いただいている。
委員長	(3) 令和8年度当初予算の概要について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
副委員長	旅費が減額されている。こども図書館ができるが、図書館の職員に他のいい図書館も視察してもらいたいという思いもある。工夫して、色々な所を見てきていただければ。

事務局	旅費の減額については、会計年度任用職員の通勤手当を減額している。 職員の旅費については減額をしていないので、こども図書館の視察にも行かせていただきたい。
委員	<ol style="list-style-type: none"> 1 50周年事業で特別な経費はあるか。 2 職員の研修費について。 3 需用費が大幅に減っている要因は。
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館の事業の中で50周年の冠をつけて行う形となる。 2 職員の研修関係については、県立図書館で職員向けの児童サービスの研修を行っている。それ以外にも障害者サービスの研修、参考調査の研修も企画されているので、その研修に職員が参加して、実際に行事等にフィードバックさせてもらっている。その旅費を普通旅費として計上している。 3 需用費については、今年度変圧器修繕に約500万円、空調設備修繕に約900万円予算を計上していたが、無事完了し、令和8年度は閉架移動棚の照明のLED化修繕等を予定しているが、今年度ほどの予算額ではないため減額となっている。
委員	備品購入費の内訳は。
事務局	1, 300万円が図書、50万円がAV資料として予算計上している。 差額の15万円はワイヤレスマイクの購入分である。
委員長	(4) 令和8年度事業計画(案)について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	<p>一般向けの読み聞かせは坂戸の図書館のひとつの売りとなっている。</p> <p>映画鑑賞会やおりがみ教室、教養講座等の講師を呼んでお話を聞く等がほとんどであるが、読書会や好きな本を持ち寄って本を読む読書会等があるといいのではないかと思う。前は、英語の本を、原本を見ながら楽しもうということを行ったことがある。人気の本や、人生について書いてある本を朗読しながら、会を回してくれるような方が一人いて、読書会等がもう少しあるといいのではないか。</p>
委員	そのような会がきっかけとなって、自主的にサークル活動等交流に繋がればいいと思う。

副委員長	図書館は完成してから何年になるのか。
事務局	42年になる。
副委員長	冠事業、例えば市民の皆様のおかげで42年等、色んなところに付けていくと、図書館に目を向けてくれるきっかけとなるのではないかと。民間では「おかげさまで」のようなものをよく行っている。人を引き寄せるようなものを何か行っていくとよいのかな、ということを考えているところがある。
事務局	坂戸市では50周年のロゴデザインを公募する等、事業を行っている。
副委員長	市民あつての図書館である。
委員	<p>教養講座に参加させていただいた。回を重ねるごとに出版社の方が近く感じる事ができ、図書館職員の苦勞が垣間見れたところである。</p> <p>42年の市民ニーズを組んだ講座でよかった。今後軌道に乗った時には、子育て世代が参加できるよう託児付きにする等、違う世代が参加できるように、世代のところで工夫するとよい。ただ、図書館を支えている年代層の方もいるので、その年代層の方のご意見を質疑応答という形で聞ける、若い世代の声を聞けるということがとても貴重であり、今後も計画して工夫していただけたらと思う。</p>
委員長	図書館だよりについて、有志の方が集まっての発行ではなくなり、図書館職員の方が作成しているが、次年度に向けて図書館だよりのあり方について話していけたらいいと思う。より多くの方に図書館に興味を持ってもらおうというところでは、図書館だよりづくりに参加してみたいという方は募集すればたくさんいらっしゃるのではないかと思います。
事務局	今後研究していきたい。
委員長	学生向けにこういう事業があったらいいというのはあるか。
委員	学校で作るポスター、うまく宣伝ができていないので、工夫したい。
委員	学級文庫は今でもあるのか。
委員	私が子どもの時は、学級文庫があつて、先生が持っていた文庫を読むことができた。

委員	今でもあるが、先生によったり、学年によったりする。学校図書館の廃本になったもの学年で見て回したりしている。
委員長	学校図書館の利用率は、何年か前と比べるとどうか。
委員	毎月調べて表にしている。特にそこまで変わってはいない。ただ、昨年と比較すると、よく貸し出されてはいるが、貸出冊数は減っている。
委員長	4 その他について 委員から何かあるか。
委員	城西大学水田記念図書館報「Book Mark」vol. 189 について 今年度の最終号。ビブリオバトルや図書館での調べる学習コンクールのサポート等行い3月で終了。卒業した学生もいる。また、地域連携事業に参加させていただいて、学生たちは、大学内では学べない多くのことを学べて、社会に出る前に色々と経験できたことがありがたかった。 坂戸の図書館だよりに掲載されている子どもの本は、新しいものではないものが掲載されているが、いい試みであると感じた。
委員長	事務局から何かあるか。
事務局	1 第5次坂戸市子ども読書活動推進計画の確認結果及び最終校の確認について 2 図書館職員の人事異動について報告。
委員長	他になれば、これで議事を終了とする。
副委員長	副委員長挨拶
事務局	5 閉会 ※新年度、第1回目の協議会の開催は7月下旬を予定